

本当にあった怖い話（レポート表現の注意点）

主体的学習支援セミナー（第三回）

2015年6月15日

1. 形式の問題点

（科目ごとに異なる。提出前に各教員からの指示を慎重に検討しよう）

- 科目名が違う
- 教員名が違う(例:松田岳志)
- 提出日・タイトルが書かれていない
- ページ設定(1行あたりの字数と1ページあたりの行数)が違う→設定は合ってもフォントが大きすぎるためずれている例や、スペースや改行を字数に含んでいる例
- ページ数が書かれていない、表紙が1ページ目になっているなど→指示に反している場合
- 字数制限・枚数制限を守っていない→字数制限は、図や表が何文字にするのかを確認
- 図番号・表番号の書き方(図や表の上か下か、番号の書き方ルール)
- 段落分けや行そろえができていない
- 箇条書きだけになっていて文章がない→レポートはレジюме(要約)ではない
- 表紙が必要なのに、ない
- 指定のフォントでない
- 参考文献・引用文献の書き方

2. 表現の問題点

- 「～たり、～たり」ができていない
 - × 遺跡を案内させられたり、祭りに参加させられたたことがある。
 - 遺跡を案内させられたり、祭りに参加させられたりした経験がある。
- 「～である」調と「～だ」調が混じっている
 - × このような橋の作り方が正解だと思いついていたのである。
 - このような橋の作り方が正解であると思いついていたのである。
- 係り受けが不自然
 - × まず、例としてあげたいのは、南大沢駅の構造をあげたい。
 - まず、例として南大沢駅の構造を取りあげたい。
- 「行う」、「実施する」の連発
 - × 最初に文献調査を行い、次にフィールドワークを実施し、最後に話し合いを行った。
 - 最初に文献を調査し、次にフィールドワークをして、最後に話し合った。

- 敬語の使用
 - ×～と先生がおっしゃった
 - ～と教員(または、教師)が述べた(または、説明した、解説した、講義したなど)
- 口語(話し言葉)の使用
 - ×それで、この祭りは10年に1回しか開かれない。あと、雨が降ってる時に…
 - したがって、この祭りは10年に1度しか開かれない。さらに、雨模様であると…
- 「生徒」と「学生」の区別ができていない→第1回授業を参考
 生徒→中学生・高校生、学生→大学生・短大生、児童→小学生
 (ただし、児童福祉法の児童とは満18歳未満の人)
- 主語が「僕」・「自分」
 - ×僕が江戸城に興味を持ったのは…
 - 私が、江戸城に興味を持ったきっかけは…
- 感情的・ドラマチックな表現:
 - 小説や感想文ではない
 - ×時は戦国時代、築城に優れた一人の武将がいた。
 - ×橋の建築で犠牲になった人のことを考えると、涙が出そうになった。→これは、書き方次第ではOKの場合も
- 当て字の漢字を使っている(接続詞・補助動詞・助動詞はひらがなで)・漢字が微妙に違う
 - ×従って、何故、研究して来た、宜しく、5年に渡る交渉、
 - したがって、なぜ、研究してきた、よろしく、
 5年にわたる交渉(どうしても漢字にするなら「亘る」)
- 「ず」と「づ」、「う」と「お」、「じ」と「ぢ」
 - ×少しづつ、このとうり
 - 少しずつ、このとおり
- 読点＝「、」が多すぎる
 - ×しかし、当時、この説は、支持されず、人々に、受入れられるまでに、時間がかかった。
 - しかし、当時この説は支持されず、人々に受入れられるまでに時間がかかった。
- 正しい引用ができていない
 ただのコピペ(場合によっては犯罪)→次回詳しく

3. その他のミス

- 提出方法が間違っている
- 締切りの勘違い/無視

以上